

ポラスグループ 木質構造の新社屋完成 オリジナルの木造新技術採用

ポラスグループ・住宅
品質保証の本社屋が3月
7日に完成した。

新社屋は3階建ての木
質構造建築物で建物の中
に入ると、木が現しにな
っており気持ちがよく、
一般のビルでは感じるこ
とができないような室内
環境である。

住宅品質保証の本社屋
は、ポラスグループオリ
ジナルの木造新技術によ
り建設されたものであ
る。

設計・施工を行ったポ
ラテックによると、新社
屋を見学した人による評
価は高いという。

評価の高い木造ビルだ
が、普及の第一の課題は
コストだという。

今後建設が増えていく
ことで、コスト面での課
題が解消されることが期
待される。

.....

既に新社屋では業務が
行われている。オフィス
はフリーアドレスになっ
ている。ワークスペース
はゆつたりとしている。
さらに、前述のように
室内は木が現しとなっ
ており、職場は落ち着いた
雰囲気である。

オフィスで働く社員に
よると「フリーアドレス
で自由に席に着くことが
できることから働きやす
い。また、室内の木の現
しで木の香りがすること
で気持ちが安らぐ」と語
っていた。

木造の新技術

住宅品質保証の本社屋
では、(1)組立て部材
(柱・梁) (2)CLT
耐力壁という木造におけ
る新技術が導入されてい
る。

組立て部材

組立て部材は、柱・梁
において、組合せて大き
な断面を構成する構造技
術である。これにより次
の利点がある。

①木造住宅用に規格さ
れた断面や長さで安定供
給されている一般の流通
部材のように納期待ちが

なく着工前の工期を削減
できる。

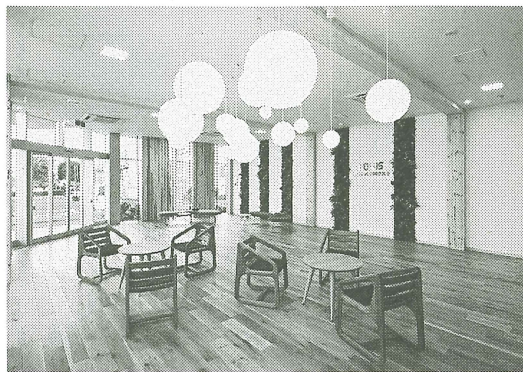
②同様に木造住宅用の
一般流通材をポラスグル
ープの住宅用プレカット

加工機で生産可能なた
め、特殊加工機用データ
作成などの手間を最小化
できる。③木造住宅用に
規格された断面や長さで
安定供給されている一般
流通材において、長さ6

m以下の材料をコンパ
クトに配送し、組立てて長
大化するため搬入路の狭
い土地においてもスムー
ズに建設できる。

以上の特徴を持つ組立
て部材を今回次のように
導入している。

(1)合せ柱―一般に
住宅向けに流通している
集成材を、ビスにより収
束することで、大断面と



木の現わしで室内は気持ちが良い



オフィスはフリーアドレスになっている



住宅品質保証の本社屋「テクノ キューブ」

ほぼ同等の部材として設
計することを可能にして
いる。

(2)重ね繋ぎ梁―6
m以下の住宅用の梁部材
を重ねて繋ぎ、最大長さ
16mまで実現可能にして
いる。

CLT耐力壁

今回の住宅品質保証の
本社屋に導入したCLT
耐力壁は接合方法につい
て特許準備中のもので、
従来の在来軸組み工法に
は次のような課題があっ
た。

①建て方後に耐力壁工
事をもう一度一層から実
施しなければならない。
②通常の住宅より多くの
耐力壁が必要になる。③
耐力壁工事にビスや釘で
の多くの接点数での施工
が必要になる。④外部で
は狭い足場で部材移動や
施工が必要。

独自に開発したCLT
耐力壁により、こうした
課題を解消することで、
CLT利用による施工の
省力化を実現し、トータ
ルコストの合理化を図っ
ている。